

ビジネスで使える

オンライン 打合せツール をチェックする

〈後編〉

「働き方の多様化」の一環として、あるいはコロナ対策として在宅勤務のケースが増えていきます。今回は、オンライン打合せツールを利用する際の留意点をチェックします。

テクニカルライター
小野 均

前号で紹介したように、オンライン打合せツールは比較的容易に導入できます。

ただし、利用時には注意しておきたいことがありますので、確認しておきましょう。

映像の停止などは 通信の高速化で回避

映像を送受信するオンライン打

合わせツールは、通信データ量が多くなります。そのため、通信回線の高速化が必須です。

自宅が無線LAN環境の場合ですが、無線LANルーターが古いようなら最新の機種への買い換えを検討してください。無線LANの通信規格には、「11n（通信速度600Mbps）」「11ac（同6・9Gbps）」「11ax（Wi-Fi

のとも呼ぶ。同9・6Gbps）」などがありますが、最新は11axです。使っているルーターが11n以前の機種なら、買い換えをおすすめします。

ルーターが比較的新しいにもかかわらず遅延などが発生する場合は、使用環境を改善しましょう。

まず、無線LANの使用周波数に「2・4GHz」を使っているなら「5GHz」に切り替えます。2・4GHzは家電製品などと同じ周波数のため干渉して速度が低下しがちです。両対応のルーターなら2・4GHz用と5GHz用に2つのSSID（ネットワークの名前）がありますので、5GHz用に接続するだけです。

また、電波が届きやすくなるように、ルーターは棚の上などなるべく遮蔽物のない高いところに置いてください。ルーターに可動式の外部アンテナがある場合は、向きや角度を調整することで通信速度が改善するケースもあります。

なお、LANケーブルが届き、パソコンにLAN端子があるなら、打合せのときだけでもルーターとパソコンを直接ケーブルで接続するのが最も効果的です。

ルーターと仕事をする部屋が別

で通信速度が低下する場合は、中継器の導入を検討してください。

最近では、自宅にスマートフォンやモバイル通信環境しかないというケースも増えていますが、遅延や停止が発生しないのなら問題ありません。

ただし、オンライン打合せツールは1時間で500MB以上のデータを使用します。契約データ量を使い切ってしまうと速度制限を受けますので要注意です。

データ量を追加購入したり、大容量プランへの変更などもありですが、これから先もオンライン打合せが増えるようなら、光回線の契約をおすすめします。

重要な注意点は セキュリティ対策

オンライン打合せツールを利用するとき、最も注意すべき点は情報の漏えいです。社内だけでなく、個人宅からの参加が増えるなど、セキュリティレベルはどうしても低下してしまいます。それだけに、徹底したセキュリティ対策を実践してください。

まずは、個人所有のパソコンの場合ですが、Windows7以前のパ

■ホーム画面のスケジュールを開くと各種設定を変更できる

ミーティングをスケジュールリング

トピック
Zoom ミーティング

開始: 火 5月 26, 2020 15:00

経過時間: 0 時間 30 分

☐ 定期的なミーティング **よりセキュリティの高い自動生成を選択** タイムゾーン: 大阪、札幌、東京

ミーティングID
☒ 自動的に生成 ☐ 個人ミーティングID

パスワード
☒ ミーティング パスワード必須 6vH5gc

ビデオ
ホスト: ☐ オン ☒ オフ 参加者: ☐ オン ☒ オフ

カレンダー
☐ Outlook ☒ Google カレンダー ☐ 他のカレンダー

詳細オプションへ
☒ 待機室を有効化 **部外者の入室を防ぐため待機室を有効化**

☐ ホストより前の参加を有効にする
☐ エントリ時に参加者をミュート
☐ ミーティングをローカルコンピュータに自動的にレコーディングする

スケジュール キャンセル

ソコンはマイクロソフトのサポートが終了しており、セキュリティ関連のアップデートがありません。これは、とても危険な状態なので絶対に利用しないでください。Windows10にアップグレードできるのならすぐにアップグレードしましょう。パソコンが非対応なら、買い替えが必要です。

そのうえで、Windows Updateを実行してOSを常に最新の状態にすることと、セキュリティ対策ソフトのインストールは最低限必要な対策です。

また、プライベートな個人アカ

ウントとは別に、パソコンには仕事のアカウントを新規作成してログインしてください。プライベートで使っているサービスには、仕事のアカウントからはアクセスしないことが鉄則です。

加えて、たとえ仕事のアカウントであっても、仕事のデータを会社のサーバーやクラウドサービスからダウンロードしないほうが賢明です。

作業でどうしても必要な場合は、作業終了後にはアップロードし、自分のパソコンからは削除する習慣を身に付けてください。重

要なデータに関しては、会社として取扱いのルールを決め、徹底することが重要です。

さらに、公共施設や飲食店等にある公衆無線LANを使ってオンライン打合せに参加してはいけません。通信データが暗号化されていないサービスが多々ありますので、注意しましょう。

オンライン打合せツールのセキュリティ設定も、チェックが必要です。

まず、パソコン用、スマートフォン/タブレット用とも、アプリは新機能の追加や不具合の修正などを行なうためにアップデートされます。そこにはセキュリティ機能も含まれますので、常に最新の状態にしておいてください。

セキュリティ関連の設定内容は、ツールによって異なります。自社で利用するツールのヘルプ情報などを参照し、セキュリティやプライバシーに関わる設定項目を見直しておきましょう。

たとえば「Zoom」の場合、会議室の部屋番号にあたるミーティングIDを利用しますが、ホスト固有のIDではなく、毎回変わる自動生成を選びます(上図)。

固有のIDだと常に同じ場所

会議を開くこととなりますので、部外者に場所が知られてしまう可能性があるためです。

また、部外者が勝手に入室できないよう、待機室を有効にしておきます。

待機室は、映像会議に参加するために立ち寄らなければならない場所、ホストの承認なしには会議室に入れません。有効化することで、ホストが参加者を管理できるようになるのです。

これは一例ですが、セキュリティに関する設定はどのツールにも用意されていますので、使い方に合わせて設定を変更しておいてください。

また、テレワーク全般の話になりますが、総務省が公開している「テレワークセキュリティガイドライン第4版」は参考になりますので、一度、目を通していただくでしょう。厚生労働省の「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」も、一読をおすすめします。

オンライン打合せツールはテレワークに欠かせません。万全なセキュリティ対策を行ない、テレワーク業務の効率化にしっかり活用してください。

おの ひとし 編集プロダクション勤務を経て、フリーライターとして独立。現在は、パソコン、インターネット、スマホ、タブレット操作の解説記事を中心に、様々なメディアで幅広く執筆活動を行なう。